

令和5年度 調布市立上ノ原小学校 学校経営計画（学校長 箱崎 高之）

学校の教育目標	
◎よく考え 進んで学習する子ども      ○思いやりをもち 仲良くする子ども      ○健康で 明るく元気な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
<p>目指す学校像 【ごきげんな学校】</p> <p>(1) 児童にとって 「よろこびのある毎日が送れる学校」</p> <p>【日々】 ・学んで分かるよろこび      ・友達と関わることのできるよろこび      ・心を解放して体を動かすよろこび</p> <p>【長い目で】 ・自分の成長が実感できるよろこび      ・自分の存在が認められるよろこび      ・自分の将来に希望がもてるよろこび</p> <p>(2) 保護者, 地域にとって 「安心して任せられる私たちの学校」</p> <p>・よく見える学校→教育活動の積極的な発信      ・安心できる学校→素早く, 丁寧で誠実な対応      ・私たちの学校→協力, 協働の取組 (来校機会確保, 学校 HP, メール配信)      (子どもの成長を願って共に悩み, 喜ぶ)      (コミュニティ・スクール, 学校を核とした地域づくり)</p> <p>(3) 教職員にとって「ごきげんな職場」</p> <p>・風通しのよい明るい職場      ・やりたいことができる職場      ・成長できる職場 (まずは挨拶, コミュニケーションをしっかりと)      (できない, やらない理由を作らずにチャレンジ)      (学び, 成長する機会の確保 職に誇りと責任を)</p>	
<p>ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)</p>	<p>○児童は, 学力が高く真面目であるが, 全体的におとなしく控えめである。体力テストの結果(学年別男女別)では, 5年女子を除いて全国平均の数値を下回っている。児童が自分のよさに気づき, 自分のよさを生かすことができるよう, 環境を整え, 活気に満ちた学校にすることが課題である。</p> <p>○長期欠席児童(30日以上)が27名, うち不登校18名と, 不登校及び不登校傾向のある児童が多い。家庭, SC, 関係機関と連携した組織的な対応を進めること, また, コミュニティ・スクール初年度として, 「地域とともにある学校」づくりの体制を整えることが課題である。</p> <p>○学年担任制や教科交換授業を生かし, 校内研究やOJTを通して, 教員の指導力を向上させ, 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが課題である。</p>
中期的な経営目標	
<p>① 自他の命を大切にし, 人と人との良い関係を築く力の育成      ② 自ら課題を発見し, 解決していく力の育成      ③ 心と体を鍛え, 前向きに行動する力の育成      ④ 学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく学校づくり      ⑤ 美しい環境の学校づくり</p> <p>人・組      ・授業力の向上      ・校務分掌の活性化      ・服務規律の徹底      ・ライフ・ワークバランスの推進</p>	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)
①交換授業, 交換給食を通して子どもの良さを多面的に見取り, 自己肯定感・自己有用感を育む。	①週ごとの指導計画を作成, 提出し, 計画的な指導を行うとともに, 毎時間の授業においてねらい明示し, 振り返りを行う。	①挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着を図る。
②主体的に考え, 議論する道徳授業を実践するとともに, いじめについて考える授業を全学級で各学期1回, 年間で3回行う。	②「主体的な学び」「深い学び」を実現する授業を目指し, 「対話」の視点で授業改善を進める。	②栄養士による給食メモ, 養護教諭による保健指導を通して, 心身の健康の保持増進に関する意識を高める。
③学校生活アンケートを毎月実施するとともに児童や保護者の声に耳を傾け, 素早く丁寧で誠実な対応をし, 心の居場所づくりに努める。	③モバイル端末を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを推進する。	③ねらいを明確にし, 運動量を確保した体育授業を行うとともに, 持久走週間・なわ跳び週間を通して体力の向上を図る。
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)
①市・魅力ある学校調査「学校が楽しい」55%以上	①国・学力調査・平均正答率国語70%以上・算数70%以上	①保護者アンケート「お子さんはすすんで挨拶ができる」A評価60%以上
②国・児童質問紙「いじめ, どんな理由があってもいけない」90%以上	②市・魅力ある学校調査「授業に主体的に取り組んでいる」45%以上	②国・体力調査「朝食を毎日食べる」90%以上, 「毎日8時間以上寝ている児童」70%以上
③市・魅力ある学校調査「みんなで何かをするのは楽しい」70%以上	③市・魅力ある学校調査「授業がよく分かる」55%以上	③都・体力調査「体力合計点」東京都平均以上を達成した学年(男女別)75%
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 保護者・地域との連携	5 美しい環境の学校づくり	
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	
①保護者の来校機会を毎月確保する。HPを年間150回更新する。	①靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。	
②学校運営協議会で熟議を重ね, 地域とともにある学校づくりを進める。	②テニスボール装着, 教室ロッカー, 壁, 掲示板の改修を計画的に行う。	
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	
①保護者アンケート「保護者と協力した教育活動」A評価60%以上	①靴箱の靴がそろっている学級, 清掃が行き届いた学級50%以上	
②保護者アンケート「地域と協力した教育活動」A評価50%以上	②30%以上の教室を改修をする。	

人材育成・組織運営
○授業力の向上 ・学年担任制, 教科交換授業を生かしたOJTの推進      ・校内授業公開64回実施による学び合いの機会確保      ・校内研究会の充実
○校務分掌等の活性化 ・3名の主幹教諭を核とした組織運営の推進      ・起案文書の流れを徹底し, 職の立場と役割を明確にし, 意識を向上させる。
○服務規律の徹底 ・定期的な研修とサービスニューズレターを活用した校長講話により, 教育公務員としての自覚と人権意識を高める。
○ワーク・ライフバランスの推進 ・校務支援システムを最大限活用し業務を効率化させることで, 1か月の時間外勤務45時間以内を目指す。